



モジュール17. 在宅ケア

教育時期: 2年目中期

教育方法: 講義・ケースカンファレンス・自習



17-1) 在宅移行時の調整

- 目的

在宅移行時のアセスメントと調整について理解する。

- 大項目

(1) 在宅移行時のアセスメント

(2) 在宅ケアの準備と調整



17-1)-(1)在宅移行時のアセスメント

- **患者に関するアセスメント**
 - ・患者が在宅で過ごすことの意味
 - ・在宅の支援体制
 - ・患者の病状認知
 - ・経済状態
 - ・急変時、病状悪化時の対応
- **家族に関するアセスメント**
 - ・家族の病状理解
 - ・在宅で過ごすことの意味
 - ・主な介護者、介護力
 - ・介護に対する家族の不安



17-1)-(2) 在宅ケアの準備と調整

- ①在宅ケアの導入時のインフォームドコンセント
- ②在宅ケアの調整
 - ・医療チームの構築
 - ・医療機材の手配
 - ・療養生活の調整(住居の整備、介護者の確保・育成)
 - ・急変時、病状悪化時の対処の指導



評価

- 在宅に向けての調整ができる。



17-2)訪問看護及び地域との連携

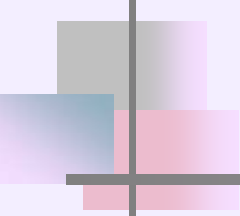
- **目的**

患者の在宅での生活を支えるため地域との連携方法を理解する。

- **大項目**

(1) 訪問看護ステーションとの連携

(2) 地域との連携



17-2)-(1)訪問看護ステーションとの 連携

- 患者についての情報提供
 - ・患者の病状、患者・家族の病状認知や意向、家族の介護力
 - ・現在の保険の種類と社会資源の活用
- 訪問看護師との定期的なカンファレンス
 - ・看護の方向性の検討
 - ・受診や再入院の必要性についての検討
- ホスピス・緩和ケア外来との連携
- 緊急時の対応、連絡体制の明確化



17-2)-(2) 地域との連携

- 診療所
- 訪問介護ステーション
- 居宅介護支援事業所
- ヘルパーステーション
- ボランティア団体



評価

- 訪問看護および地域との連携ができる。